

きたはら



令和元年11月29日
練馬区立北原小学校
学 校 通 信
NO. 632号

教育目標 ◎よく考える子供 ○思いやりのある子供 ○明るくたくましい子供

二つの大行事を終えて

校長 岩井 一雄

年のせいでしょうか。いえ、これは本物です。心の奥底からこみあげてくる感動に目頭が熱くなりました。一生懸命、真剣な態度で演じた子供たちの姿は、ご参会の皆様の方に届き、魅了し、真の感動を与えてくれました。素晴らしい子供たちとともに、心をこめて指導した教職員スタッフ、支えてくださった地域や保護者の皆様にお礼の言葉を心の中で何回もつぶやきました。

9日の音楽会、23日の開校40周年記念式典にご協力をいただき、本当にありがとうございました。ご来場の皆様からのたくさんの拍手は子供たちの何よりの励みとなりました。厚く御礼申し上げます。

「音楽会」は、運動会と肩を並べる大きな学校行事でした。「40周年記念式典」は10年に一度、前回を経験している教職員は皆無の中での大行事でした。異なる行事でしたが、子供たちにとっては、共通のねらいや思いがありました。すなわち、音楽や呼びかけなどを通して自分たちの思いや北原小の様子をご来校された皆様に向けて表現し、伝えたかったということです。また、教職員は、子供たちが一生懸命努力した姿をお示ししたい、北原小の歴史に思いを寄せる気持ちを子供たちに養いたい、よい思い出を残してあげたい、そんな思いで準備を進めました。

音楽会では選曲、音取り、担当楽器を決めるオーディション、個別の練習、曲想や歌詞に込められた思いへの感情移入など、40周年式典では今につながる北原小の歴史や、これまで育ててもらったことへの感謝を、どう呼びかけに盛り込めば来校した皆様に伝えられるかなど、仕上げまでの苦労は大変なものでした。しかし、これらの苦労を吹き飛ばしてくれた感動の要因は、教員と子供たち、そして子供たち同士の一体感にあったと、私は思っています。

多くはないスタッフと大勢の子供たちで作上げていく学校行事は、このような心のつながりがなければできません。子供たちのやり遂げた表情を見て、手前味噌ですが、積み重ねが結実していることを嬉しく思うとともに、最前線で頑張った担任・専科の教員、それを支えた職員たちの一致団結の心に頼もしさを感じました。

記念式典にご参会された方からの感想を少し御紹介します。

「子供たちの歌声と呼びかけを向き合って聞き、こみあげてくる感動と涙に自分自身が戸惑っておりました。子供たちのひたむきさ、懸命さが伝わってきました。みんなが「やる気」になって心を一つにして取り組んだことが表れておりました。」

準備段階から関わってくださった皆様、当日遠方からもご参会いただいた方々、心を寄せてくださった方々、皆々様に心から御礼申し上げます。

いよいよ12月、学期末を迎えます。師走の名の通り、年末に向けて忙しい時期になりますが、これまでの学校生活を振り返り、これからも続けていきたいことや新年に向けて新たに挑戦したいことなどを落ち着いて考えるひと時をもたせたいと考えます。今後とも引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

40周年記念さくらんぼ音楽会の感想

<1年生>

たいいくかんににゅうじょうするとききんちょうしたけど、たのしかったです。せりふも、えがおでいえました。

(1くみ)

大せいのおきゃくさんがいて、きんちょうしました。けんぱんハーモニカをひいたり、大きなこえでうたったりしてとてもたのしかったです。

(2くみ)

うたをうたうときに大きなくちをあけてたのしくうたいました。はじめてのおんがくかいできんちょうしました。でもたのしかったです。

(3くみ)

みんなことどくようにせりふをいえました。おきゃくさんにいっぱいはく手をしてもらって、うれしかったです。

(4くみ)

<4年生>

「エーデルワイス」は、かなり前から練習していましたが、難しかったところがあったので、休み時間に練習をして、音楽会の少し前にやっとできるようになりました。今では簡単に吹けるようになりました。(1組)

わたしは、「ソラシドれん太鼓」では、和太鼓をたんとうしました。和太鼓のばちはとても重く、細かい事をする時大変でした。でも練習していくとできるようになって楽しくなりました。(2組)

ぼくは、「たからもの」という歌をがんばりました。「お腹こえを入れると、高い音を長く出して、歌い続けることができるよ。」と音楽の先生のアドバイスを聞いて練習したら、上手に歌うことができました。(3組)

わたしは、「ソラシドれん太鼓」が一番いいなと思いました。太鼓の大きい音で迫力を感じました。元気でにぎやかな演奏になりました。(4組)

<2年生>

れんしゅうの時は前に人がいなかったから大きな声を出せたけど、本ぱんは大せいの人がいなかったからはずかしかったです。いちばんたのしかったのは、「たのしい動物ランド」です。リズムにのりながら、かわいいうりつけもできたからです。(1組)

「風のとおりみち」では、けんぱんハーモニカをひきました。中休みや昼休みにれんしゅうしたせいがかい出せたと思います。つぎのおんがく会では、とくべつながつきをえんそうしてみたいです。(2組)

一番がんばったところは「たのしい動物ランド」のゴリラで大きな声を出せたことです。おきゃくさんがたくさんいてきんちょうしたけれど、けんぱんハーモニカも大せいこうしたのでうれしかったです。(3組)

<5年生>

私は千本桜のオルガンを担当しました。最初はなかなかひけませんでしたが、学校だけでなく土曜日、日曜日の休日を使って、ものすごく練習しました。何回も何回も練習するとスラスラひけるようになりました。学校でもみんなと合わせられるようになり、うれしくなりました。本番でもやりきることができて良かったです。(1組)

私か本番に意識したのは、練習のときよりも楽しそうに歌うことです。自分が満足するだけでなく、見る人に「すてきな。」と思ってもらえることが大切だと気づきました。北見先生が5年生の合奏を聞いて、感動していたことを知り、とてもうれしい気持ちになりました。(2組)

千本桜の演奏が心に残りました。途中、リコーダーの指使いが難しいところがあったけれど、練習を重ねてできるようになりました。最後は、曲の構成を楽しめるまでになりました。(3組)

<3年生>

練習では「ほたる こい」の声を小さくしたり大きくしたりするところと、ゆっくり歌うのがむずかしかったです。でも、何回も練習して本番の日にやっとなので、とてもうれしかったです。(1組)

「元気、勇氣、ちから」を歌うときにとてもきんちょうしてしまっただけで、みんながここにこしていただんだん気持ちが明るくなってきました。(2組)

「ザ・ロングスト・デイ」の練習はうまくできていたけれど、本番はきんちょうして少しまちがえてしまいました。でもみんなのがんばりを見て、リズムを足とってさいごはうまくできました。(3組)

<6年生>

私は、「山の魔王の宮殿で」の合奏が特に難しかったです。オルガンは、小さい音を大きくしていったり、音色を途中から変えたりしたので、みんなに合わせるのが大変でした。でも、休み時間に何度も練習したから、演奏できました。全然できなかったことも、練習したり、教え合ったりすればできるようになってよかったです。(1組)

ぼくは、「ふるさととは今もかわらず」の最初のところで「さわやかな朝もやの中を」という歌詞に合わせてやさしく歌うことをがんばりました。「やさしく」を意識して声が小さくなりすぎないようにすることが難しかったけど、本番では上手く歌えてよかったです。(2組)

「山の魔王の宮殿で」の演奏を、特に遅れました。最初はゆっくりだけど、だんだん速くなっていくので、間違えないようにしました。上手く演奏できたので、思い残しはありません。最後の音楽会、やりきれてよかったです。(3組)

令和元年11月23日

40周年記念式典



令和元年11月23日、北原小学校40周年記念式典が行われました。在校生を代表して、5、6年生が、北原小学校の40周年を呼びかけと歌でお祝いしました。

呼びかけでは、これまでの北原小学校のあゆみとともに、これまで北原小学校を支えてくださった方々への感謝の気持ちを込めて言葉を述べました。

また、呼びかけの始めは、5年生のリコーダーによる「ハッピーバースデー」の演奏が行われました。さらに、6年生による合唱「ふるさとは 今も変わらず」では、ふるさとへの思いを表現しました。呼びかけの終わりは、5、6年生による「いのちの歌」の合唱です。およそ200人に子供たちが、ここまで育ててもらったことへの感謝の気持ちを伝えました。

多くの方々の支えがあって、40年という長い歩みがあったのだと思います。これからも、たくさんの方々の思いを大切にしながら、子供たちが健やかに育つ学校を目指していきます。



防災訓練

12月14日(土)に毎年恒例の防災訓練を行います。低学年は、煙体験と防災についてDVDを観たりクイズをしたりして学びます。中学年はバケツリレー・消火器体験・防災工作をします。高学年は、資機材操作(発電機・仮設トイレ・バーナー)・救命活動について、実際に体験して学びます。

突然災害にあったときに、どのように自分や周りの人の安全を守ったらよいのか、避難したときにどのような設備があるのか、一人一人にできることは何か、しっかりと考えさせたいと思います。

練馬区防災課、避難拠点の方々、消防署、PTAの方々、に御協力をいただきます。



今月の生活目標

正しい言葉づかいをしよう

学校では、生活する中で言われていやな言葉・うれしい言葉を考えさせ、うれしい言葉と共に思いやりを増やしていくための指導をしています。これから冬休み・年末年始を迎えるに当たり、子供たちは様々な方と関わる機会が増えることでしょう。時や場を考え、相手意識をもちつつ自分の思いを話すことは大切です。あいさつ、返事と共に、正しい言葉遣いで話すことについてご家庭でも話題にいただき、子供たちの更なる成長へとつなげたいと考えています。

本格的な寒さに向かいます。寒い日でも、校舎内では防寒着(ジャンパー等の上着、マフラーやネックウォーマー、手袋)を着用しないように指導しています。寒さ対策は、肌着など中に着る物で調整するようにお願いします。

落とし物が多くあります。保護者会の際に壁面前にてご確認ください。持ち物への記名をお願いします。

～2学期、実り多い5年生の秋～

「お米の学校」では、5月から育てていたお米の収穫を行いました。今年は例年以上に穂が実りうれしく感じていましたが、いざ収穫を迎えると、穂が無くなっていました。どうやら地域に住むネズミがやってきて食料にしたようです。子供たちは、自然の中で食物を育てる難しさを感じていました。

「社会科見学」では、東京モーターショーへ行き、これからの未来、自動車がどのように変わっていくのかを探ってきました。人にも環境にも良い自動車が多く展示されており、「私たちが乗る自動車が、どのようになっているか、すごく楽しみになりました。」という感想をもつことができました。

「さくらんぼ音楽会」では、合唱と合奏、合わせて3曲を発表しました。その中でも、子供たちは「千本桜」の練習に励みました。授業だけでなく、休み時間にも練習を重ね、本番では一人一人の音が響き合うすてきな演奏を披露することができました。



お知らせとお願い



◆音楽会の鑑賞ありがとうございました

多くの方の御来校が、子供たちにとって大変励みとなりました。子供たちの感動的な歌声や演奏をお楽しみいただけたことと思います。アンケートでいただいた御意見は、次回の参考といたします。当日のご来校およびアンケートへのご協力ありがとうございました。

◆保護者アンケート

「令和元年度教育活動についてのアンケート」をお配りしました。今年度一年間の本校の教育活動について御意見をいただき、来年度の教育活動に生かしていきたいと考えております。アンケートへの回答の御協力をお願いいたします。ご提出いただいた結果につきましては、学校の自己評価、児童アンケートの結果の分析と合わせて、年度末に改善策をお示しいたします。なお、今年度もマークシート方式です。マークは濃く塗るようお願いいたします。また、アンケート用紙は、折らずに封筒に入れて御提出ください。

12月の行事予定

2日(月)	委員会活動	17日(火)	社会科見学 4年	
3日(火)	お話会 保護者会 1・2年	20日(金)	原爆先生の特別授業 6年	
4日(水)	親子交流会 5年 保護者会 5・6年	23日(月)	委員会活動	
5日(木)	親子交流会 3年 保護者会 3・4年	25日(水)	2学期終業式	
6日(金)	お話会	26日(木)	冬季休業日始	
9日(月)	クラブ活動	
10日(火)	安全指導 話し方教室 6年	1月7日(火)	冬季休業日終	
14日(土)	避難訓練・防災体験	8日(水)	3学期始業式 安全指導 集団登校(～11日)	